

JSI ファイル編集ソフトウェア

JSIEditor

Ver. 2.6.0

説明書



内容

JSIEditor について	1
JSIEditor の画面	2
• 「設定」 ダイアログ	5
• 「その他の付加情報の編集」 ダイアログ	7
エクスプローラーとの連携	8
履歴	9

JSIEditor について

JSIEditor は、JSI フォーマットのファイルを編集するためのソフトウェアです。

このプログラムは、Windows 10, Windows 11 (それぞれ 64bit)上で動作します。

JSI フォーマットは、digi-PROVE により独自に開発されたファイルフォーマットです。ドキュメントスキャナーなどでスキャンした画像ファイルをまとめてひとつの文書ファイルにすることを目的としています。ファイル名の拡張子は、”JSI”です。ちなみに、JSI は自炊(JiSuI)を短縮したものです。(紙の本をドキュメントスキャナーなどを使って自分で電子書籍化することを、俗に「自炊」と呼びます。)

自炊で電子書籍化する場合、PDF ファイルにするのが一般的ですが、PDF の閲覧ソフトである Adobe 社の Acrobat Reader やその他のフリーソフトに不満がありました。特に Acrobat Reader は、フルスクリーン表示にしたときに見開き表示ができなかったり、タブレットでの操作がやりにくかったりします。

フリーソフトの中にはソースが公開されているものもあり、それを利用した PDF 閲覧ソフトの開発も考えましたが、フォントの扱いが面倒なため諦めました。個人的に、OCR 機能(画像内の文字をテキストデータに変換する機能)は使用しないので、画像ファイルをまとめるだけの文書ファイルフォーマットを作成することにしました。

文書ファイルにまとめなくても、画像ファイルのままに表示する方法もあります(rPDFViewer にはその機能があります)。しかし、1ページ1ファイルだと、ページ数分のファイルが存在することになり、それが大量になると、更新モードでバックアップをとる場合に時間がかかるようになります(ファイルごとに、更新されたかのチェックを行うため)。このため、1文書1ファイルにしたいわけです。

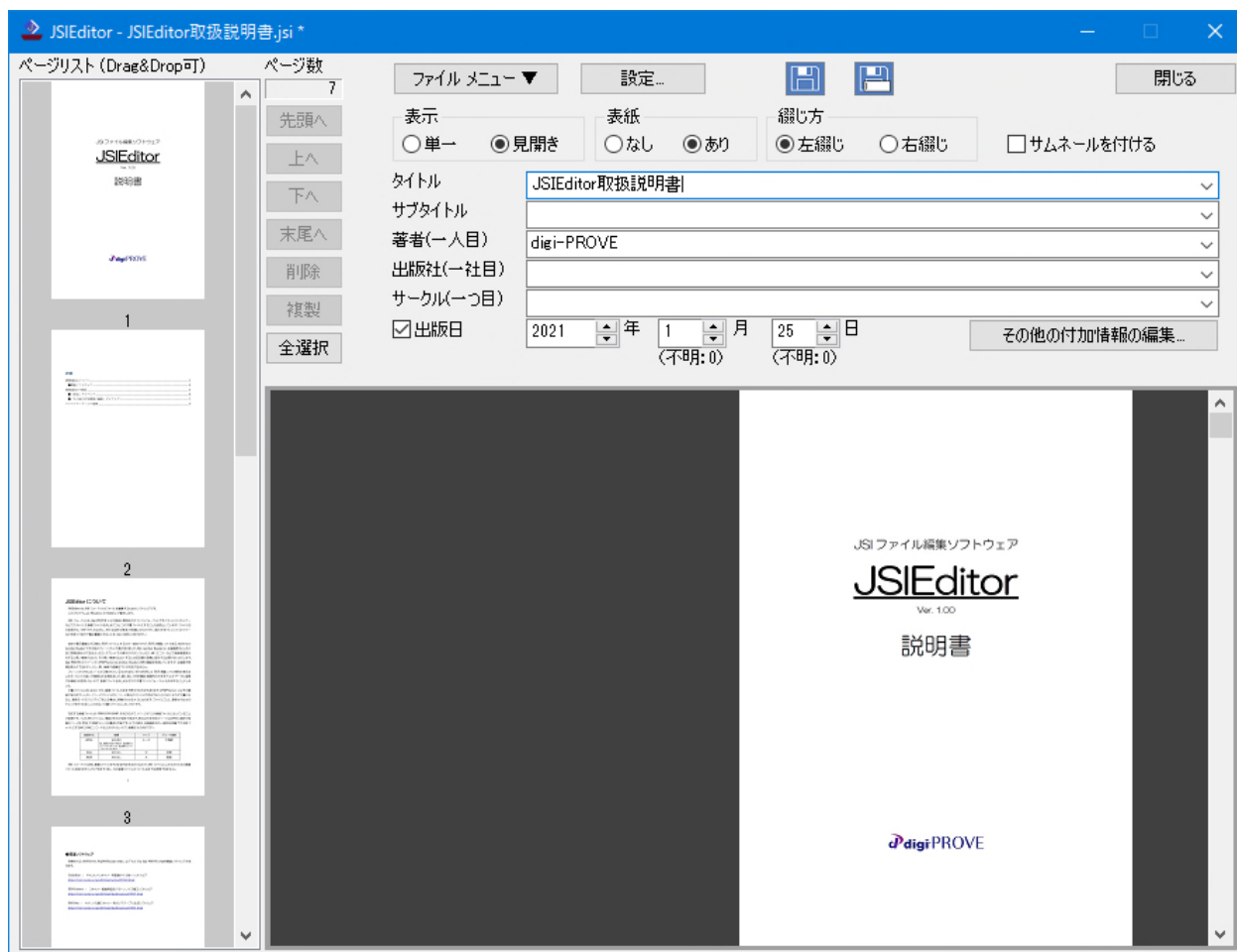
対応する画像ファイルは JPEG,PNG,BMP 形式のもので、1ページが1つの画像ファイルになっていることが前提です。1つの JSI ファイルに、複数の形式が混在できます。例えば文字主体のページは JPEG、挿絵や写真のページは PNG や BMP といった構成も可能です。以下の表は、各画像形式の一般的な性質です(JSI ファイルにする時には再エンコードなどは行わないので、画質は元の画像ファイルのままです)。

画像形式	画質	サイズ	デコード速度
JPEG	劣化あり 但し品質の指定が可能で、高品質だとサイズが大きくなり、低品質だとサイズが小さくなります。	小～中	中程度
PNG	劣化なし	中	低速
BMP	劣化なし	大	高速

JSI フォーマットは単に画像ファイルをそのまま内包するだけなので、JSI ファイルにしたものから元の画像ファイルを取り出すこともできます(但し、元の画像ファイルのファイル名までは再現できません)。

JSIEditor の画面

以下の図は JSIEditor の画面です。ウィンドウの枠をドラッグして、サイズを変えることができます。



■ページリスト

ページ画像のリストを表示します。

Windows のエクスプローラーから、画像ファイルをドラッグ & ドロップで追加することもできます。

サムネールをダブルクリックすると、そのページをプレビュー表示します。

【注意】

ページリストに登録した画像の元のファイルや JSI ファイルは、JSI ファイルとして保存するまでは削除や移動、及びファイル名や属性の変更をしないでください。編集中は、画像データとしては JSIEditor 内には保持しておらず、JSI ファイルとして保存する時に元のファイルを参照します。

■「先頭へ」、「上へ」、「下へ」、「末尾へ」ボタン

ページリストで選択したページを、それぞれ先頭、上、下、末尾に移動します。

■「削除」ボタン

ページリストで選択したページ(複数可)を削除します。

ページリストにフォーカスがある場合、キーボードの[Delete]でも削除できます。

■「複製」ボタン

ページリストで選択したページを複製します。

■「全選択」ボタン

ページリストの全ページを選択します。

ページリストにフォーカスがある場合、キーボードの[Ctrl] + [A]でも全選択できます。

■「ファイルメニュー」ボタン

クリックすると、ファイル操作のためのメニューを表示します。

メニュー項目	ショートカット	説明
新規作成	Ctrl + N	新規作成します。 それまでの編集内容はクリアされます。
JSI ファイルを開く	Ctrl + O	既存の JSI ファイルを開きます。 それまでの編集内容はクリアされます。
画像を追加	Ctrl + P	ページリストに画像ファイルを追加します。
フォルダ内画像を追加	Ctrl + O	フォルダを指定して、そのフォルダ内の画像ファイルをページリストに追加します。
フォルダ内画像を文書ファイルとして開く	Ctrl + D	フォルダを指定して、そのフォルダ内の画像ファイルをページリストに追加します。また、設定ダイアログの内容に従ってタイトルなどを自動設定します。 それまでの編集内容はクリアされます。
上書き保存	Ctrl + S	現在の編集内容を上書きで保存します。
名前を付けて保存	Shift + Ctrl + S	現在の編集内容を、ファイル名を指定して保存します。
全 Page 画像の書き出し	Ctrl + E	フォルダを指定して、ページリストの全画像を書き出します。 ファイル名は、設定ダイアログの内容に従います。
選択 Page 画像の書き出し	Shift + Ctrl + E	フォルダを指定して、ページリストの選択画像を書き出します。 ファイル名は、設定ダイアログの内容に従います。

■「設定」ボタン

「設定」ダイアログを表示します。(後述)

■上書き保存ボタン



ファイルメニューの「上書き保存」を実行します。

■名前を付けて保存ボタン



ファイルメニューの「名前を付けて保存」を実行します。

■表示／表紙／綴じ方

文書を表示する場合の形式を選択します。

「単一」表示の場合、表紙、綴じ方の内容は意味を持ちません。

■「サムネールを付ける」チェックボックス

最初のページの画像をサムネール(160×200pixel のサイズにしたもの)として付けるか否かを選択します。付ける場合、ファイルサイズが約 96K バイト大きくなります。

■タイトル／サブタイトル

文書のタイトル、サブタイトルを設定します。(必須ではありません。)

タイトルを設定しない場合、ビューアーではファイル名をタイトルとします。

コンボボックスとなっており、最大5個の履歴から選択し編集することもできます。履歴には、JSI ファイルに保存するときに登録されます。

■著者(一人目)／出版社(一社目)／サークル(一つ目)

著者、出版社、サークルを設定します。(必須ではありません。)

それぞれ複数ある場合は、「その他の付加情報の編集」で追加します。

コンボボックスとなっており、最大5個の履歴から選択し編集することもできます。履歴には、JSI ファイルに保存するときに登録されます。

■出版日

出版日(初版)を設定する場合は、チェックして日付を指定します。年は西暦とします。月や日が不明な場合は、それぞれ 0 を指定します。月に 0 を指定した場合、日も0(不明)と解釈されます。

■「その他の付加情報の編集」ボタン

「その他の付加情報の編集」ダイアログを表示します。(後述)

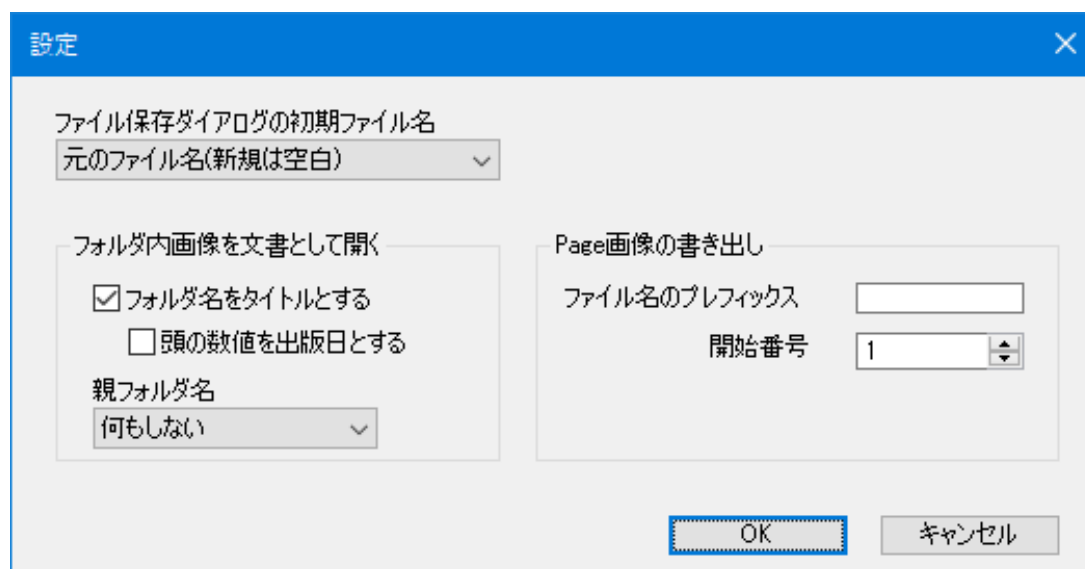
■プレビュー表示

選択されている表示形式で、プレビュー表示されます。右のスクロールバーで表示するページを移動できます。マウスのホイール回転でもページを移動できます。

■「閉じる」ボタン

JSIEditor を終了します。

●「設定」ダイアログ



■ファイル保存ダイアログの初期ファイル名

「名前を付けて保存」のダイアログを表示した直後に表示されるファイル名を以下のものから選択します。

元のファイル名(新規は空白)	既存のファイルや保存済みのファイルの場合は、元のファイル名を表示します。新規作成の場合は空白になります。
タイトル	タイトルをファイル名として表示します。 タイトルが空白の場合は、「元のファイル名(新規は空白)」と同じになります。
年 タイトル	年とタイトルをファイル名として表示します。 タイトルが空白で出版日が有効な場合、年だけ表示します。 ※1
年月 タイトル	年月とタイトルをファイル名として表示します。 タイトルが空白で出版日が有効な場合、年月だけ表示します。 ※1 ※2
年月日 タイトル	年とタイトルをファイル名として表示します。 タイトルが空白で出版日が有効な場合、年月日だけ表示します。 ※1 ※3

※1 タイトルが空白で出版日が無効の場合は、「元のファイル名(新規は空白)」と同じになります。タイトルが空白でなく、出版日が無効の場合は、タイトルのみ表示します。

※2 出版日が有効でも月が 0(不明)の場合、月は表示されません。

※3 出版日が有効でも月が 0(不明)の場合、月と日が表示されません。月が 0 以外で日が 0(不明)の場合、日は表示されません。

■フォルダ名をタイトルとする／頭の数値を出版日とする …①

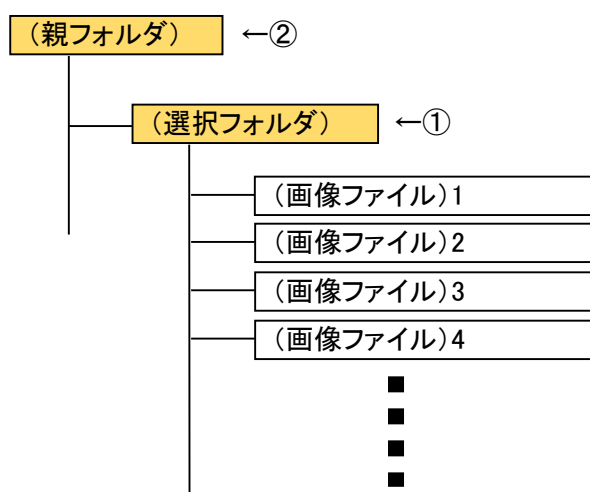
「フォルダ内画像を文書として開く」コマンドで、選択したフォルダ名をタイトルとして設定するか否かを選択します。設定する場合、さらに頭の数値を出版日とするか否かを選択します。

頭の数値を出版日とする場合、桁数が 4 桁の場合は西暦の年と解釈し、月日は不明とします。6 桁の場合は西暦の年、月と解釈し、日は不明とします。8 桁の場合は西暦の年、月、日と解釈します。出版日と解釈した場合、それを除いた部分をタイトルとします。

■親フォルダ名 …②

「フォルダ内画像を文書として開く」コマンドで、選択したフォルダの親フォルダ名の処理を選択します。

「何もしない」、「著者とする」、「出版社とする」、「サークルとする」から選択できます。



■ファイル名のプレフィックス／開始番号

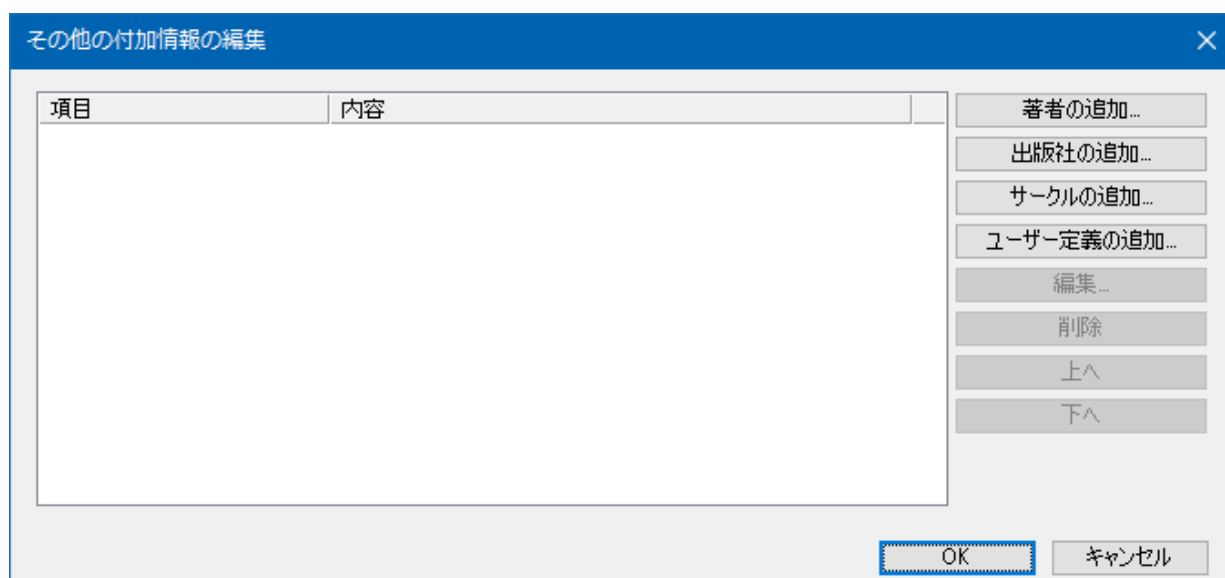
「全 Page 画像の書き出し」、「選択 Page 画像の書き出し」コマンドで、保存するファイル名の頭に付ける文字列と開始番号を指定します。プレフィックスの後に 4 桁の番号が付加されます。

例: プレフィックス “Img” 開始番号 1 の場合

Img0001.jpg Img0002.jpg Img0003.jpg ...

拡張子は、JSI ファイルにする前の画像ファイルに対応したもの(jpg, png, bmp のどれか)になります。

●「その他の付加情報の編集」ダイアログ

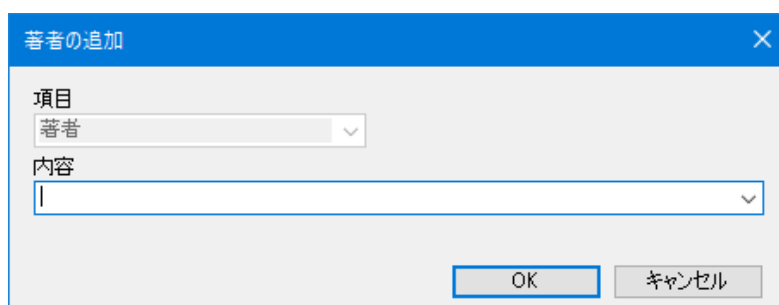


■著者の追加／出版社の追加／サークルの追加／ユーザー定義の追加

各情報の追加を行います。

原則として、1つの項目に1人／1社／1サークルの名前を設定します。著者、出版社、サークルについては、メイン画面で設定していない状態で追加した場合、「OK」で閉じた時にメイン画面の方に移動します。

ユーザー定義の場合、項目名もユーザーが指定できます。



著者を追加するダイアログの例

■編集／削除／上へ／下へ

リストで選択して「編集」ボタンをクリックすると、その内容を編集できます。

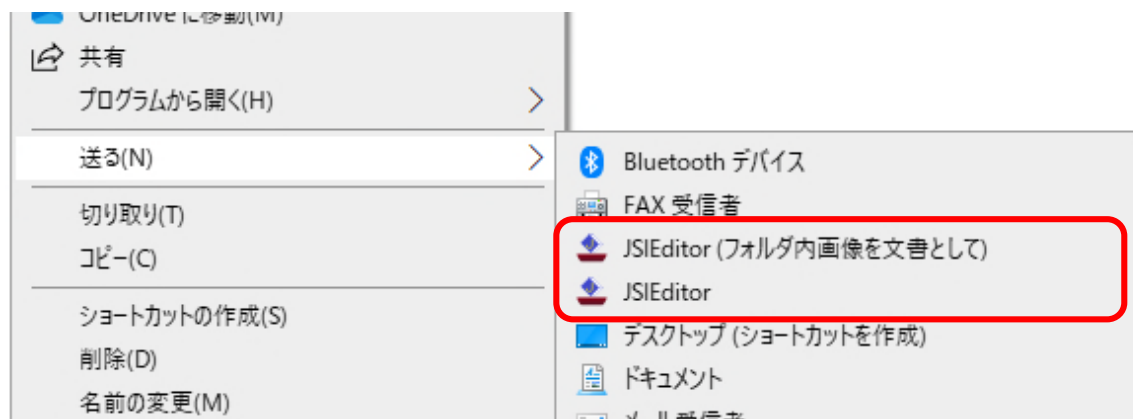
リストで選択して「削除」ボタンをクリックすると、その項目を削除できます。

リストで選択して「上へ」、「下へ」ボタンをクリックすると、その項目を上／下へ移動できます。ビューアーで情報を表示した場合は、決まった項目順で表示されます。但し、同じ項目が複数登録されている場合は、このリストでの順で表示されます。

エクスプローラーとの連携

JSIEditor をインストールすると、Windows のエクスプローラーに JSIEditor の機能が登録されます。

エクスプローラーでフォルダを選択し、右クリックメニューを表示すると、「送る」の中に図のような項目があるはずです。



■JSIEditor (フォルダ内画像を文書として)

選択したフォルダに対して「フォルダ内画像を文書として開く」コマンドを実行した状態で JSIEditor が起動されます。(画像を含むフォルダが選択されていなかった場合は、コマンドが実行されることなく JSIEditor が起動されます。)

■JSIEditor

単独の JSI ファイルを選択した場合	選択したファイルに対して「JSI ファイルを開く」コマンドを実行した状態で JSIEditor が起動されます。
画像ファイルを含むフォルダを選択した場合	選択したフォルダに対して「フォルダ内画像を追加」コマンドを実行した状態で JSIEditor が起動されます。
単独の画像ファイル、または複数の画像 (JSI ファイルを含むことも可) を選択した場合	選択したファイルに対して「画像を追加」コマンドを実行した状態で JSIEditor が起動されます。
その他の場合	コマンドが実行されることなく、JSIEditor が起動されます。

例えばドキュメントスキャナーでスキャンした画像が保存されるフォルダを選択して「JSIEditor」を実行することで、効率的に JSI ファイルを作成することができます。

※「送る」に「JSIEditor (フォルダ内画像)」が含まれる場合

旧バージョンからアップデートした場合、「JSIEditor (フォルダ内画像)」が含まれているかもしれません。その場合は、以下のフォルダにある「JSIEditor (フォルダ内画像)」のリンクを削除してください。

「ユーザー」と表示されている場合があります。

C:\Users\%User%\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\SendTo

サインインしているユーザー名です。

履歴

2021 年 1 月 23 日発行(Ver.1.0.0)

2021 年 2 月 5 日発行(Ver.1.1.0)

起動直後のコマンド処理を、ダイアログ表示後に行うように変更。

単ページを選択した場合は表紙あり／なし、綴じ方の選択をできないように変更、及び GUI 配置の見直し。

2021 年 2 月 21 日発行(Ver.1.2.0)

ページの全削除時、プレビューのスクロールバーをリセットしていない不具合を修正。

エクスプローラーの「送る」の説明を修正。

2021 年 2 月 27 日発行(Ver.1.3.0)

タイトルなどの付加情報について、最大5個の履歴データから選択できる機能を追加。

起動時や新規作成時の日付は、最後に有効な日付を JSI ファイルに保存した時、または有効な日付を持つ JSI ファイルを開いた時の値を維持するように変更。

空白を含まないパスなど、ダブルクォーテーションでくくられないパスが複数指定されて起動された場合、正しくパスを認識しない不具合を修正。

2021 年 3 月 6 日発行(Ver.1.3.1)

「名前を付けて保存」を実行したフォルダが次の保存やオープンダイアログに反映されない不具合を修正。

「JSI ファイルを開く」で開いた時、プレビューのスクロールバーサム位置が初期化されない不具合を修正。

付加情報文字列に制御文字が含まれないかのチェックを追加。

2021 年 3 月 14 日発行(Ver.1.4.0)

表紙なし見開きの場合、プレビュー表示が不正になることがある不具合(保存される JSI ファイルに影響はありません)の修正。

2021 年 4 月 4 日発行(Ver.1.5.0)

「保存」ボタン(新規時は名前を付けて保存、そうでない時は上書き保存)を「上書き保存」ボタンと「名前を付けて保存」ボタンに分離。

「名前を付けて保存」ダイアログの初期表示ファイル名のオプション(タイトルや日付をファイル名にする)を追加。

メインダイアログの最小縦サイズを、1920x1080(150%)に合わせて小さくした。

2021 年 9 月 25 日発行(Ver.1.5.1)

タイトルなどの入力文字数が、コンボボックスの幅で制限されていた不具合の修正。

2022 年 10 月 2 日発行(Ver.1.6.0)

jpg ファイルの EXIF 回転情報を表示に反映するようにした。

タイトルなどのコンボボックスでの初期表示で、自動補完が働いていたのを補完しないように修正。

2023 年 6 月 18 日発行(Ver.2.0.0)

バージョンのみ変更。

2023 年 7 月 18 日発行(Ver.2.1.0)

バージョンのみ変更。

2023 年 8 月 20 日発行(Ver.2.2.0)

バージョンのみ変更。

2024 年 1 月 2 日発行(Ver.2.3.0)

バージョンのみ変更。

2024 年 8 月 16 日発行(Ver.2.4.0)

ページリストのダブルクリックで、そのページを表示する機能を追加。

2025 年 2 月 6 日発行(Ver.2.5.0)

追加情報の編集ダイアログのコンボボックスで、リスト内の表示がソートされていたのをソートしないように修正。

2025 年 3 月 30 日発行(Ver.2.5.1)

コマンドラインでのファイル指定(実行ファイルのアイコンへのドラッグ&ドロップも同じ)で、全角スペースを含むファイル名の処理に失敗していた不具合を修正。

説明書で、Acrobat Reader に関して 4K モニターで黒い横線が入る問題の記述を削除(解消されたようなので)。

2025 年 4 月 30 日発行(Ver.2.6.0)

バージョンのみ変更。

奥付

本書は、著作権法上の保護を受けています。

本書はフリーソフトの一部であり、digi-PROVE が作成したアーカイブの形態での複製、配布は自由に行うことができます。また、プログラムをインストールしたPC内部、およびそのバックアップ目的での記憶メディアへの保存に限り複製を行うことができます。以上の形態以外の形態では、本書の一部または全部について、digi-PROVE から文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。

Copyright© 2021-2025 digi-PROVE

メールアドレス: digiprove@outlook.jp